

掲載日	令和1年7月1日
氏名(漢字)	田中 利砂子
氏名(ふりがな)	たなか りさこ
氏名(ローマ字)	TANAKA Risako
最終学歴	熊本県立大学大学院文学研究科修士課程日本語日本文学専攻
取得学位	修士(文学)
所属	国際教養学科
職位／役職	講師
研究室名	日本語学・日本語教育研究室
専門分野	日本語教育・日本語学
授業科目	ビジネス文書、日本語言語表現、大学編入演習、大学編入実践演習、小論文演習、面接指導演習Ⅰ・Ⅱ
教育実践における創造的 または工夫した取り組み例	①プロジェクトワーク・プロジェクト学習の実践(2005年7月11日～7月20日および2018年5月8日～6月1日) ②参加型学習の実践(2011年11月10日～11月24日および2017年9月23日～2018年2月10日) ③協働学習の実践(2018年8月23日) ④アカデミック・ジャパニーズにおける「発信型スキル」習得のための実践(2018年4月9日～7月23日)
職務上の実績	【資格・免許】 ①中学校・高等学校教諭専修免許状(国語)
研究テーマ	助詞とモダリティの実相
研究業績	【著書】 ①『これが九州方言の底力!』([共著]、大修館書店、2009年5月) 【論文】 ①「多言語社会における教科教育—社会科教科書の文章理解に関する研究—」([共著]、『宮崎大学教育文化学部紀要 人文科学』、第19号、39-50頁、2008年9月) ②「現代語の『こそ』構文とモダリティ形式」([単著]、『解釈11・12月号』、第64巻、2～11頁、2018年12月) 【学会発表等】 ①「外国人児童における社会科教科書の日本語理解—栃木県真岡市における調査から—」([共同]、中部言語学会、2007年12月) ②「宮崎方言における形容詞の一段活用化—宮崎県南部域の現況と全国分布—」([共同]、九州方言研究会、2008年1月) ③「宮崎方言における形容詞の一段活用化—その発生要因と宮崎県南部域の現況—」([共同]、日本方言研究会、2008年5月) ④「外国人児童の教科書理解度に関する研究—社会科教科書を用いた語彙調査から—」([共同]、日本語教育学会、2008年10月) ⑤「外国人児童生徒の文章語理解について—ことばの意味が『わかる』ということ—」([共同]、日本語学会、2009年5月) ⑥「現代語の『こそ』構文とモダリティ」([単独]、熊本県立大学・三江学院日中国際日本語研究フォーラム、2012年8月)
現在所属している学会	解釈学会、日本語教育学会、九州日本語教育連絡協議会
社会貢献活動	①宮崎県国際交流協会主催 日本語ボランティア講座講師(2011年度～2018年度) ②熊本県立大学・熊本県立八代中学校主催 中大連携読書感想文書き方教室講師(2012年度～2018年度) ③小林市地域日本語教育スタートアップ事業コーディネーター(2019年度～)